

20戸足らずの集落がNPOを設立 “交流”と“文化”を軸に小さな自治体づくり

宿場町として栄えた鳥取県智頭町、その中心部から車で20分、町内で最も標高の高いところに位置する新田集落では、全国初の集落全戸が加入する“集落丸ごとNPO”を立上げ、集落が一丸となって“交流と文化”を軸とした活性化の試みを進めている。新田集落では、活性化に向けて様々な取組が行われているが、とりわけ人形浄瑠璃を柱とした取組が特徴的である。



背景と課題

子どもたちの笑い声を聞きたい

智頭町は、鳥取県東南部に位置し、周囲は1,000m級の中国山脈の山々が連なる山村地域である。新田集落は、智頭町南部に位置し、南は岡山県勝田町に接する。耕作地は約8～9haと少なく、昔から「智頭杉」で知られた林業を中心に生計を立てていた。

戦後の産業基盤の変化から、都市へ労働力が流出する中で、新田集落でも人口減少・高齢化が進行していた。そのような中、なんとか活性化をして、子どもたちの賑やかな笑い声が聞こえる村を次代へ引き継ぐことが必要という考えが集落住民の中で広がっていった。



取組のきっかけ

都市交流から地域の誇れる資源を発見する

新田集落には、幕末から明治初期に“娯楽”として始まった「新田人形浄瑠璃芝居」が受け継がれている。昭和20年代には人間国宝の文楽の人形遣い桐竹紋十郎の指導を受け、「相生文楽」と命名され、高尚な郷土芸能として伝承、発展してきた。

きっかけは、平成3年に、町の紹介で行った「大阪いずみ市民生活協同組合」との農作業を通じた体験交流にさかのぼる。都市に、人・もの・カネ・情報が集中し、中山間地域が忘れ去られつつある時代にあって、都市住民との交流は、何もないと考えられていた自らの集落にも、誇れるものがあるということに気がつくきっかけとなった。そこから芝居を伝承していくことが、活性化の起爆剤となると考え、伝承活動が活発化する。平成6年には、伝承の拠点でもあり、宿泊機能も有する「人形浄瑠璃の館」を町が整備し、現在に至るまで、“集落”で維持・運営を行っている。

NPO法人 新田むらづくり 運営委員会

所在地：〒689-1426

鳥取県八頭郡智頭町

西谷新田620-1

連絡先：0858-75-1994

鳥取県智頭町

総人口：8,517人

高齢化率：33.6%

世帯数：2,771世帯

総面積：224.61 km²





取組と成果

集落全員参加型の取組

取組 1

「5カ年毎の総合計画」

「小さな自治体」を目指し、“自分たちの事は自分たちで”を目標に平成6年から集落活性化計画（総合計画）を5年ごとに作成している。

- ・ 第一次総合計画（H6年度～H10年度）
- ・ 第二次総合計画（H11年度～H15年度）
- ・ 第三次総合計画（H16年度～H20年度）

取組 2

「新田人形浄瑠璃芝居の上演・伝承」

町内には、人形浄瑠璃の木偶人形の頭（かしら）が75あり、うち12は町指定の重要文化財となっている。

木偶人形は、3人1組で1体の人形を操るものであり、もともと、集落の男性のみで行われていたが、平成10年より、女性も加わり、人形浄瑠璃の上演には集落全員で対応して、郷土伝統芸能を守っている。



取組 3

「新田カルチャー講座」の開催

都市との交流や、山村地域の活性化を図っていく上では、時代の流れや人々のニーズを的確につかみ、対応してが必要であるとの考えの下、自己研鑽の場としての勉強会を毎月1回開催。講座の内容は、文化、政治、経済、福祉、教育、趣味など各分野にわたり、著名な講師を招聘し講演を受けている。平成12年から始まり、講座回数は100回を超えるとともに、毎回、集落各世帯から誰かが参加することで、コミュニティの形成の場にもなっている。

取組 4

情報発信

都市との情報格差がささやかれる中、都市からの情報を収集するだけでなく、地方から都市へ、中央への情報発信も必要である。新田集落では、インターネットをする人も多く、インターネットやパンフレットを通じて、域外への情報発信を行っている。

※新田むらづくり運営委員会では、「大阪いずみ市民生活協同組合」や子供たちの交流の場「新田・田んぼの学校」など、都市住民、都市の子どもとの“交流”事業が、取組の大きな柱の一つとなっている。



成果

計画を一つずつ達成

第一次計画では、「人形浄瑠璃の館」などのハード整備を、第二次計画では、「新田カルチャー講座」などのソフト面をと、作成した計画を一つずつ達成していくことで、集落の住民のやる気と自信、誇りにつながった。

地域の文化が交流につながる

人形浄瑠璃の上演は、活動当初は町の敬老会などのイベントでの上演だったが、次第に町外や県外でのイベント参加や子供たちの総合学習、また有料公演などにつながり、地域の文化の上演・伝承が、様々な人々との交流につながっていった。